



1201100593716



事故本

一部欠損

5.7.8.14発行

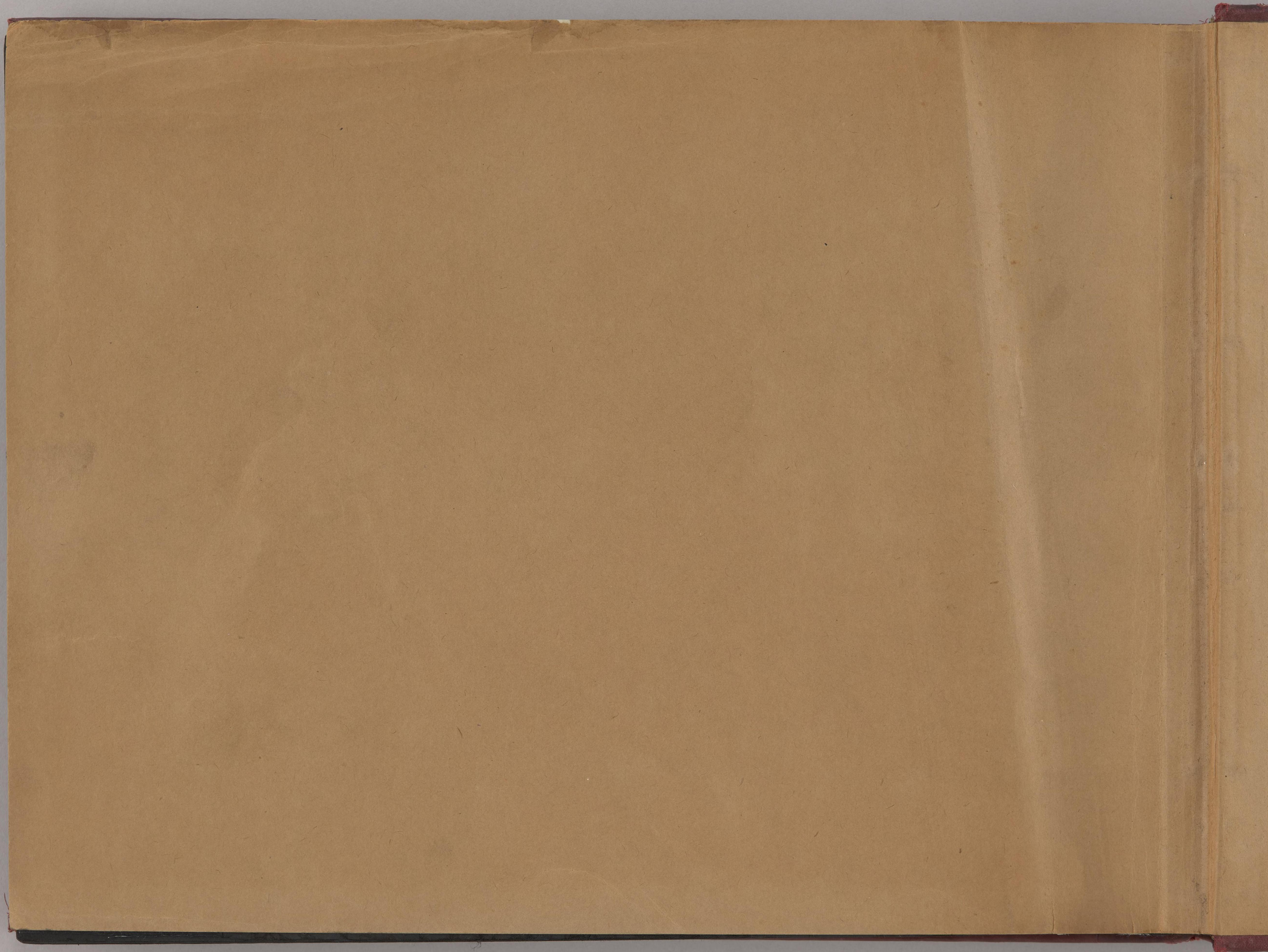
美術の秋を迎へて

祝古典に依る

有島氏の写真

禁電子式複写







新聞
聯合

寫真二五ノス

昭和七年八月



(着到てに號一レンキツマp港入濱横明未日一月八) 合聯發 (スルゼンアスロ)

眞寫中空の景全村クツピンリオるす泊宿の手選國各界世

(許不載轉製複) 行發日一月八年七和昭 スーユニ眞寫合聯開新



モテ大のステナでンリルベ

ヒ)ステナで於にンテルガトスル●ンリルベ日九月七る去 合聯發(ンリルベ)
大るげ於にンヘンユミの日過がンヨシーレトスンモテ大の(黨粹國のーラトツ
が感のかたし中集に身一を聽視の洲歐全柄節時。たれば行に大盛でい次にモテ
ンヨシーレトスンモテ大るげ於にンテルガトスル は真寫。たつあ
(許不載轉製複) 行發日一月八年七和昭 スーユニ真寫合聯聞新



はで座伎舞歌の月八のれ枯夏月難御の界行興 傳宣クダ汗屋ソドンチ多喜次彌
ソチの下都 法寸ふいとら煽を氣人トツラで毛栗膝州與多喜次彌のり振年三
るせら廻り練を内市で装扮の多喜次彌もれ何てし員動を名十數屋ソド
(ひ揃勢の隊傳宣多喜次彌は眞寫)

(許不載轉製復) 行發日二月八年七和昭 スーユニ眞寫合聯開新



着歸機生學の問訪洲滿

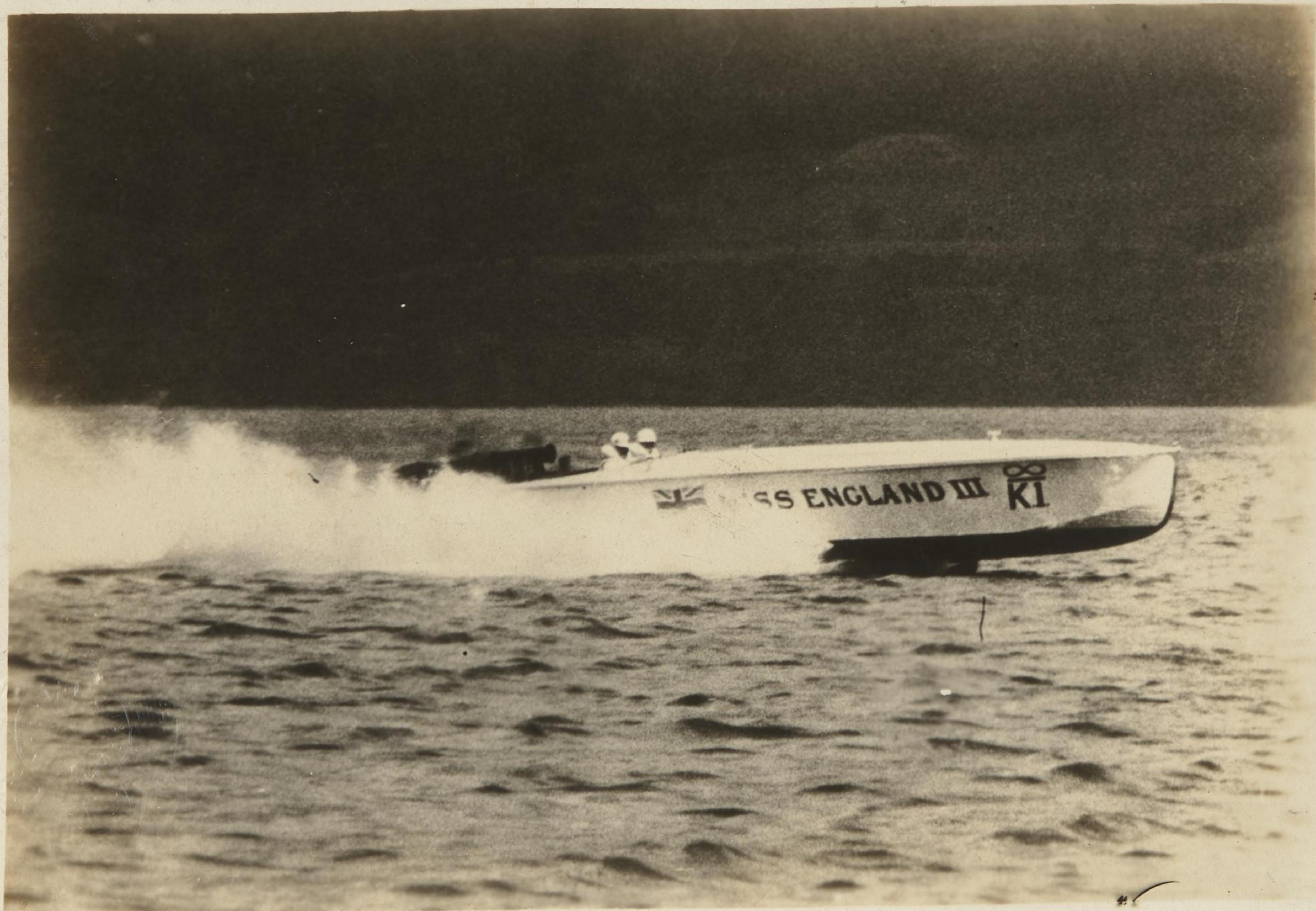
二てれら送見に衆觀の數多は機兩大早・大明の盟聯空航生學たえ終を行飛滿訪
京東路一てれま恵に和日行飛の好絶らか折け向へ東を首機發出な場兵練東城日
たし着歸に場行飛田羽分十三時一十前午ひ向に
川・代且・好三・藤佐・内山（らか右てつ向）機生學たし果を任大 は眞寫
（君諸の上

（許不載轉製複） 行發日二月八年七和昭 スーユニ眞寫合聯聞新



す出をドーピスの倍三の車列行急で上水

さ造新しく可る作を録記ドーピス新界世のトーホーターモ 合聯發 (ソドンロ)
もの轉運氏ンド・エイカナ名有般過は轉運試の號三第ドンラゲンイ・スミたれ
績成好の上以期豫し出を哩餘十二百速時れば行て於にドンモーロ・ケツロにと
待期らか般一とうらあでる作を録記新又やす必は上の成完業作整調。たげ舉を
號世三ドンラゲンイ・スミる走でドーピスの哩餘廿百 は真寫 みるてれさ
(許不載轉製復) 行發日三月八年七和昭 スーユニ真寫合聯聞新



さし涼る出の汗やひもて原草たけ焼に暑炎

さ……とるゐてつ思さのもたつまきに海と山は味涼の夏 合聯發(ソリルベ)
炎が味涼の特獨ふいさる握を汗冷に手謂所。たれば現がのふいと……すらあに
藝曲りよふいと種一のツーボス。だのふいとるへは味に中の原草る上え燃に熱
目てしとツーボスの用應學科たし用利をドービスがぬれ知もか當適が方ふいと
。たしだれば行にん盛で逸獨下
のもたし寫を種一の内の藝曲ドービス は眞寫
(許不載轉製複) 行發日三月八年七和昭 スーユニ眞寫合聯聞新



炎天下に熱球飛ぶ都市対抗野球戦開始

加参。催開で場球宮神の日四き如かく焼熱炎は會大球野抗對市都本日全回六第
後場出クツヒムリオがるあで管ゝるらせ演が戦熱てつ互に間日六。六十ムーチ
。況盛の員満ンアフに丈るあでム一ケのれ入書てつ取に界ツ一ホスるた莫落の
式場入戦抗對市都 は真寫。たつま始は合試に式球始の長市田永
(許不載轉製復) 行發日四月八年七和昭 スーユニ真寫合聯開新



手選田西のれ譽く輝で録記新クツヒムリオ

日の度再得を位二第然我でび飛高棒の手選田西が我は日五第會大クツヒムリオ
覺目り破を録記クツヒムリオへいはと位二第令假。たれらげ掲く高頭橋は旗章
。たつあでのたげ揚を聲のび喜すは思は衆觀に績功く輝のそるせ闘奮くしま
び飛高棒の手選田西の勳殊 は眞寫

(許不載轉製複) 行發日四月八年七和昭 スーユニ眞寫合聯開新



舍廳市スルゼンアスロふ賑

各へ迎をのもる餘に千二もでみの手選らか中界世 合聯發(スルゼンアスロ)
らかだところたけかし押へ府羅に時一が口人の萬數十とるへ加を人物見のらか國
のり祭お日終は舍廳市るゑてしなを心中の待接や迎歡其。だ上以像想はひ賑其
景光の前舍廳市府羅 は眞寫。るゑてじ演をぎ騒大な様

(許不載轉製復) 行發日五月八年七和昭 スーユニ眞寫合聯開新



嬢良相の中習練猛

でん飲を涙の念無はでクツラトは軍子女征遠我 合聯發 (スルゼンアスロ)
上。たつなとみのるけかを待期に嬢良相の飛高走とーレリはる殘でのたし退敗
少も所るす待期に達女彼も等我がるあがのもいしまぐ涙もさ進精の達女彼後陸
? かるす揚掲を旗國の丸の日嬢良相てし果いなく
り振習練猛の嬢良相るけ於に地彼 は眞寫

(許不載轉製複) 行發日五月八年七和昭 スーユニ眞寫合聯聞新



軍兩滿日ふ闘と賊匪と暑酷

のるゐてげ虐を民良の辜無に所隨時隨は賊匪るゐてしうし猛を威暴に地各滿南
賊草等之に下天炎の度百がるあゝつめ力に滅剿が之力協は軍國洲滿び及軍我で

。るあがのもな壯悲は苦勞の軍皇るゐてし戦苦と

軍國洲滿の備警線一第近附橋石大と（上）隊戦陸我の線一第口營 は真寫

（許不載轉製複） 行發日六月八年七和昭 スーユニ真寫合聯開新



軍兩滿日るす戦奮に伐討賊匪の面方口營

る侮ひ勢にけだるゑてしと景背を良學は賊匪る蔓に帯一近附てしと心中を口營
あゝつけ續を戦苦に共軍兩滿日はに伐討的底徹がれ之てつあがのもるざらかべ
で中陣と(上)軍將忠殿王令司軍洲滿の中察視を線一第で馬騎 は真寫 〇る
(てに橋石大)(下)軍將王の中戦策

(許不載轉製復) 行發日六月八年七和昭 スーユニ真寫合聯聞新



式名命砲射高納獻區草淺

し對に臺二機音聽型小臺四銃關機射高臺二砲射高たし納獻りよ區草淺はで軍陸
に共とふ行を名命席出他其相陸木荒。たつ行を式名命で園公田隅時四后午日六
千若機行飛りよ津志下頃る終式がたつ送を狀謝感に長區同るす表代を民區草淺
。たし出現を戰擬模るな烈壯てし戰應に之りよ上地し來飛に空上園公が臺
習演空防で砲射高納獻 は眞寫

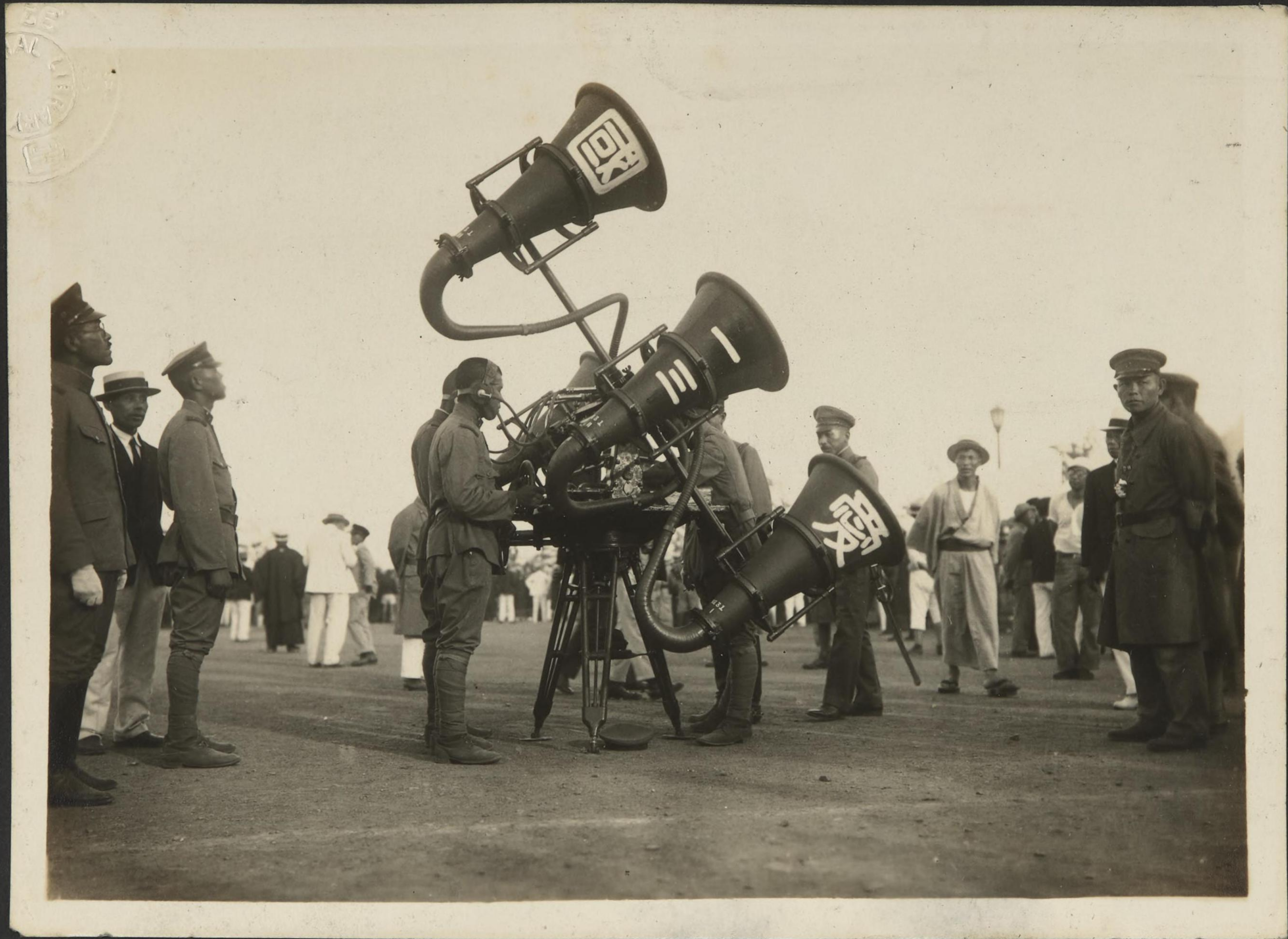
(許不載轉製復) 行發日七月八年七和昭 スーユニ眞寫合聯開新



式名命砲射高納獻

。たつ行に大盛を式名命の他其砲射高たれさ納献らか區草淺はで軍陸
躍活の機音聽型小納献 は眞寫

(許不載轉製複) 行發日七月八年七和昭 スーユニ眞寫合聯聞新



英帝國經濟會議場

去る七月廿一日ヨリカナダ・オットー・フタツオに開會
英帝國經濟會議の歴史以來の深刻な恐慌に悩む世界經濟界に於ては
各自自治の領土に如何に並上一般經濟上緊密な繋連を保つて行くか
本國と各自治領に如何に並上一般經濟上緊密な繋連を保つて行くか
此の會議の目的は先づ國家主義の資を以て中議でい
つに於ては世界各國の注視の的となつてゐる
又轉じては望遠の塔和平の堂事議場カナダの會議は眞寫
新開聯合眞寫ニユース 昭七八年八月日發行
(複製轉載不許)



立樹黨新のブラク研國

員委日同し名命と會員委備準盟同民國で會議協備準黨立の日八はでブラク研國
一員黨ほ尙。たで出届てしと体國渉交に局務事院議衆て以を名の氏藏謙達安長
。たし爲を告奉拜參に宮神治明に更し拜遙を城宮てふ揃打前午日同は同
下以長員委黨新の拜參宮神 は眞寫

(許不載轉製複) 行發日八月八年七和昭 スーユニ眞寫合聯聞新



英本國艦隊を御査閱の英國皇帝

去る七月二十日英國國王喬治五世陛下は、
（ソンドン）聯合發
に灣港に英國本國艦隊の精銳御査閱の爲め皇太子殿下、
各上の學見御くな限を號同るす表代を國英の海れらせらなに號ソルネ艦旗て
。たつ賜を謁に下以長艦

（頭先御プツラタ）陛下の艦上御に號ソルネ は眞寫

（許不載轉製複） 行發日九月八年七和昭 スーユニ眞寫合聯開新



式幕除碑忠隊部尾松

日九は式幕除碑忠表の名六廿隊部尾松たし滅全て於に麓山螺虹大日九月一年本
「碑忠表」寸三尺六巾尺七十さ高は碑。たれば行て於に庭營隊大兵重輜衛近黒目
へさ聲の咽鳴はらか席族遺に音哀の樂奏でのもるなに毫揮の相陸木荒は字題の
朗辭祭の賓來等將中林理代相陸・魂招祓修の司宮茂加社神國埒てくか。たえ聞
。たじ閉を式分五十時十同てつあ禮拜獻捧串玉の族遺、讀
禮拜の賓來 は眞寫

(許不載轉製複) 行發日九月八年七和昭 スーユニ眞寫合聯聞新



都市対抗野球戦終る

第六回都市対抗野球戦各強敵に勝つた神戸大連と決戦の日九日午
第三時半から神宮球場で花々しく大試合開幕。たれさ
。五回まで両軍得点。たし神戸大が先取局A1対0で勝利に歸りたし

な神戸大は優勝は眞寫

（複製転載許） 昭和七年八月十日發行 スーユニ眞寫合聯開新



飛込みに第六位を占めた小林君

(ロスアンゼルス) 發聯合 八日午前八時半から行はれた男子飛込競技の結果は我が小林一男選手一二三點七六で第六等を占めた生江君は一二五點一八で第八等と決定。寫眞は オリムピック・プールで飛込練習中の小林一男選手の
ダイビング・フォーム

新聞聯合寫眞ニュース

昭和七年八月十日發行

(複製轉載不許)



首相兩黨首と會見

政府では時局救済策の大綱を樹て臨時議會を召集するに至つたので十日午后四時鈴木政友會總裁を同五時若槻民政黨總裁を夫々官邸に招致してその經過につき簡単に報告諒解を求むる所があつた。

寫眞は 首相訪問の若槻民政黨總裁

新聞聯合寫眞ニュース

昭和七年八月十一日發行

(複製轉載不許)



澄宮殿下北海道御見學のため御出發

目下陸軍士官學校御在學中の澄宮殿下には今夏の暑休を利用遊ばされ北海道各地御見學のため十一日午后二時半上野驛御出發遊ばされた。三十日まで約二十日間に亘り各地御巡遊の由である。

寫眞は 上野驛御出發の澄宮殿下

新聞聯合寫眞ニュース

昭和七年八月十一日發行

(複製轉載不許)



問訪相陸表代盟同民國

を相陸木荒半時九前午は名七外氏達安の盟同民國たし去辭を邸官相首朝日二十
。たし去辭時十同ひ行を換交の見意々種し言進を認承時即國洲滿問訪に邸官
表代盟同民國の問訪相陸 は眞寫

(許不載轉製複) 行發日二十月八年七和昭 スーユニ眞寫合聯開新



美術の秋を迎へて

構造社の日名子實三氏を訪ふ。原型「女性」は殆んど完成に近く、アト二十日程
日子を要すると言ふ。同家に寄宿せる水泳の王子横山君の決勝が氣になつて仕
事も手に付かんと氏は談る。この「女性」には腕と足さの線の交錯を彫刻に依
つて表現しやうといふのである。

寫眞は「女性」製作中の日名子氏

新聞聯合寫眞ニュース

昭和七年八月十二日發行

(複製轉載不許)



行旅嶮冒の行一督總コツロモ佛な様の画映

數官屬は氏ンーエセ・ンアシル督總コツロモ日一十月七る去 合聯發(リバ)
治統の方地疆邊地民植し行旅を地奥の方地ーチツヤア・ルプーエツドに共と名
的實事のそりよふ言とな様の畫映らがなさがたしなを査踏地實にさぶつを續成
影撮眞寫及査調るな重貴々種し喫滿を分氣地奥のカリファアにい大は行一に態狀
戰擬模の伐討人蕃 は眞寫 〇たしなを

(許不載轉製複) 行發日三十月八年七和昭 スーユニ眞寫合聯開新



會別送權全藤武の頭巨陸海

陸海午正日三十がるゐてつなにとろす發出け向に地任々愈日一廿は權全藤武
。たい開を會餐午別送てし待招に館會京東内の丸を將大同は連頭巨
荒 相海田岡 將大南 將大谷金（らか左てつ向）會別送將大藤武 は眞寫
權全藤武 相陸木

（許不載轉製複） 行發日三十月八年七和昭 スーユニ眞寫合聯聞新



氏島有る依に典古「夜」てへ迎を秋の術美

きしめ殿のり塗黒るあ観き如の敷屋家武らかなさまの風古……耶島有の町麴
「夜」は題畫。るあで中作製でエリトアのごは氏馬生島有「……うま頼」。關玄
ゐ位間週一トア。ふいとるあでのもた得をトンロに刻彫の典古（る依に典古）
ルデモと氏馬生島有の中作製「夜」は眞寫。だうさるす成完で

（許不載轉製複） 行發日四十月八年七和昭 スーユニ眞寫合聯開新



北満水害画報

(ハルビン)發 北満の水害に就いては既に外報に詳報の通りであるが其後増水の峠も本日位を以て越すものと見られてあるが更に其以後に襲來する悪疫の流行に對して萬全の豫防策を講ずる爲目下我在留民は極力盡力中であると。寫眞は避難民で雑踏する支那街付家甸と市内浸水状況(九日寫)

新聞聯合寫眞ニュース 昭和七年八月十四日發行 (複製轉載不許)

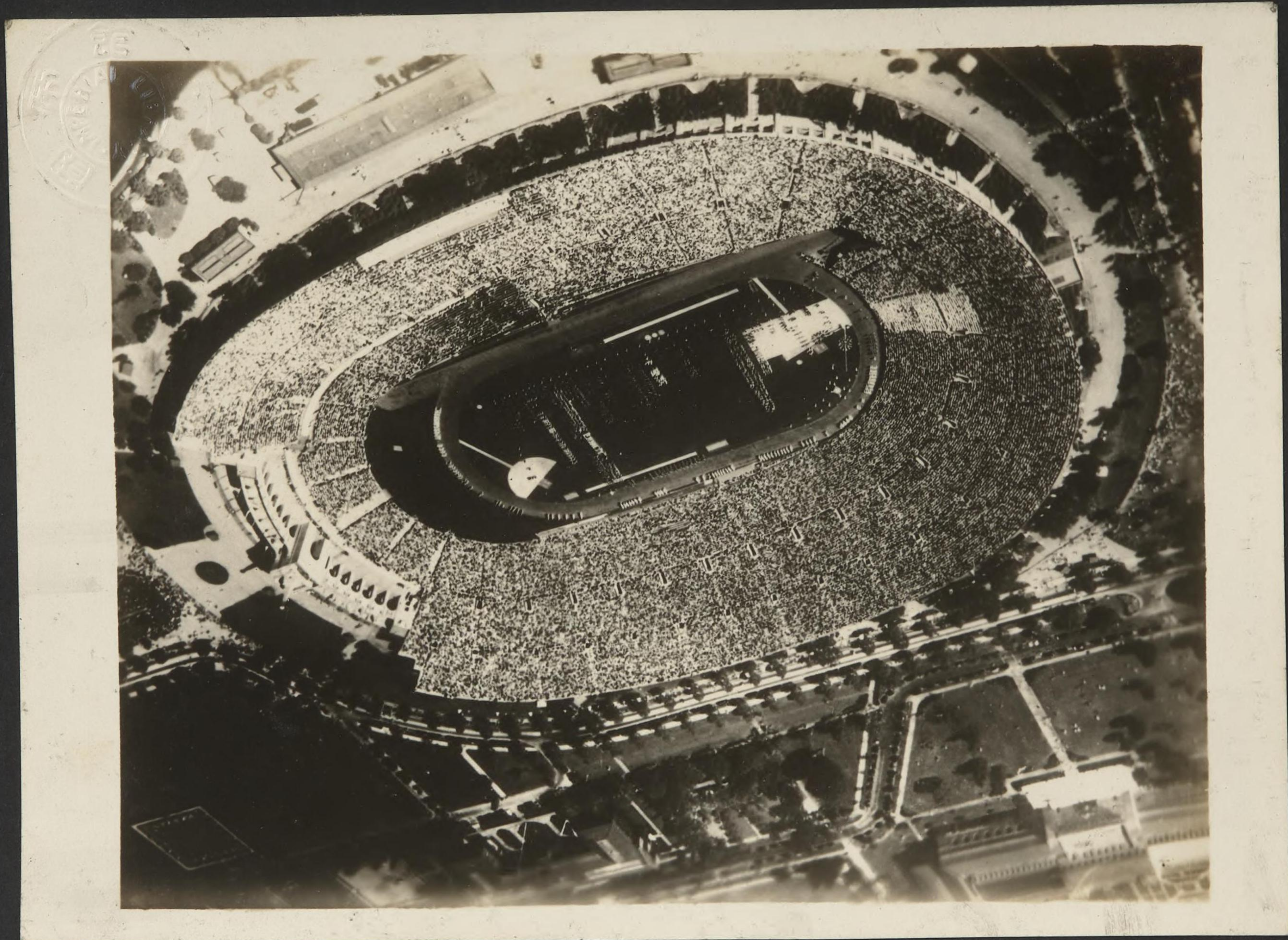


式會開クツピムリオ回十第哉るなん盛

オ回十第きべす念紀のこ半時二后午日一十三月七 合聯發(スルゼンアスロ)
千五萬二十。たれは行てい於に場技競スルゼンアスロは式會開會大クツピムリ
つ依に辭の會開の氏スチーカ領統大副、式場入の手選國各し歴を場は衆觀大の
(便托號ンバヤジムエ)。たれさ落てつ切は蓋火の會大に、こりま始は式て

景全の場技競 は眞寫

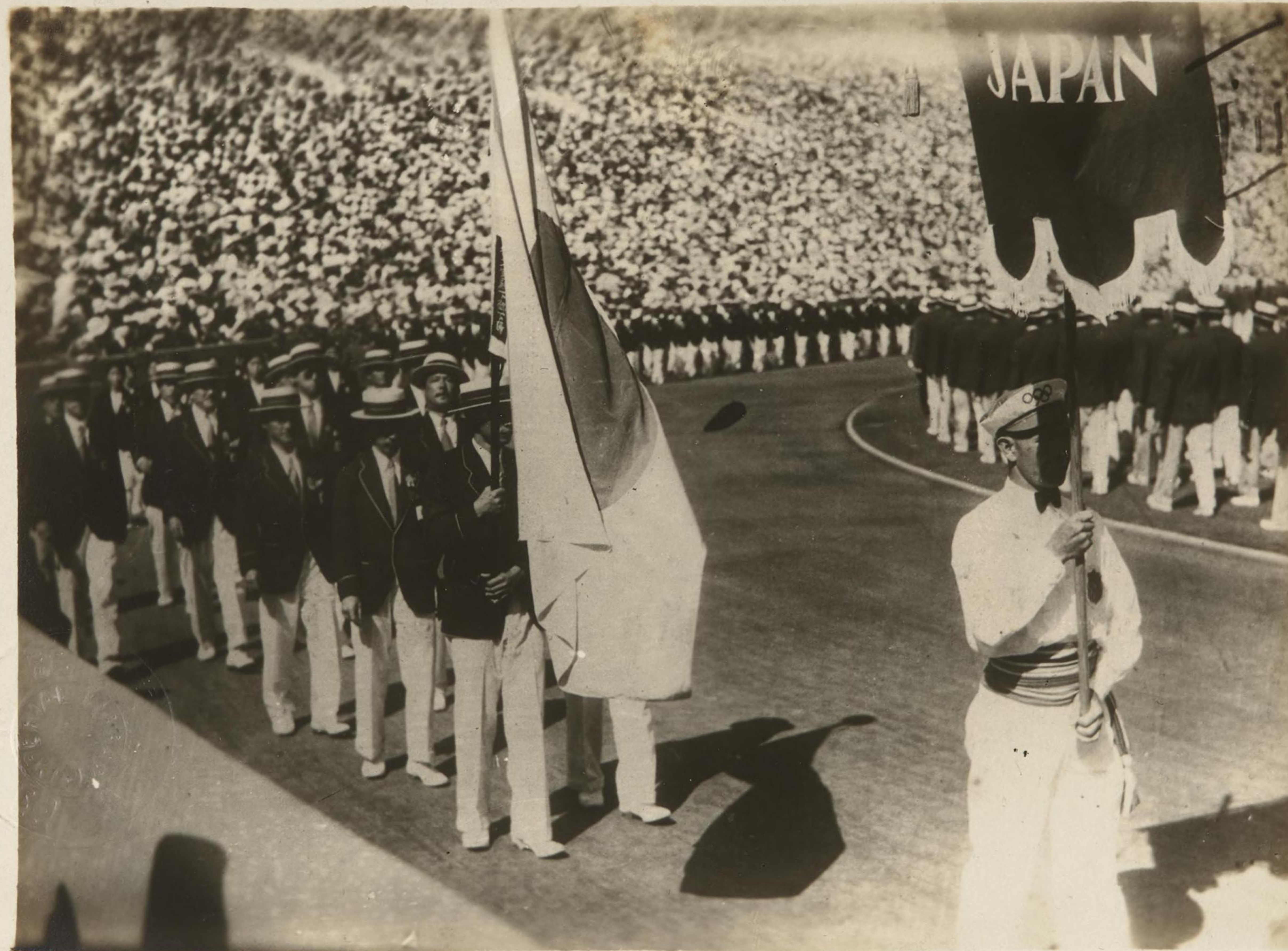
(許不載轉製複) 行發日五十月八年七和昭 スーユニ眞寫合聯開新



場入の手選本日々堂

將主上水石高し掲奉を旗章日の賜下御宮父秩將主田織は行一手選表代本日が我
けだるあてめ占を數多大の中者場出國各く除を國米き續引にれ之手選各添介
(便托號ンバヤジムエ)。たつあがのもるた々堂に實に
式場入のれ晴手選本日 は眞寫

(許不載轉製複) 行發日五十月八年七和昭 スーユニ眞寫合聯開新



氏川石の中作制「港」

伊。たつた中作制を號十二百るす題と「港」。ふ訪を伯書治寅川石員査察展帝
。定豫の成完末月九、とこのとる依にチツケスの中行旅生寫方地豆

氏治寅川石の「港」は眞寫

(許不載轉製複) 行發日六十月八年七和昭 スーユニ眞寫合聯開新



衆議院各派交涉事會

秋田衆議院議長は十月六日午後二時より議長官舎に各派交涉事を開き會議振肅案
の承認を求められ實行にいつて打合せ所あつた。

衆議院各派交涉事會 眞寫

（複製轉載許） 昭和七年八月十六日發行 新聞聯合寫眞—ス



待招に邸官相首を官令司軍藤武

招に邸官相首を僚幕下以長次謀參磯小官令司軍東關藤武午正日七十は相首藤齋
田柴、僚閣各らか側人主れさ待招も官長東關前岡山。たい開を會餐午の別送待
。たつあで會盛席出も等官長局政法切堀、長翰
會別送の邸官相首 は眞寫

(許不載轉製復) 行發日七十月八年七和昭 スーユニ眞寫合聯開新



車列行急號四十百第るせ覆顛めたの賊匪

。場現るたれらめしせ覆顛線脱めたの賊匪で間子山高一子准青線山奉日七
は左・車便郵はのるゐてつ掛り乘に上のそ・車罐汽たつなし倒横 は眞寫
車客等三日輛四

(許不載轉製複) 行發日七十月八年七和昭 スーユニ眞寫合聯閉新



待招を氏泉小派部幹友の會友政

相さ張主の會友政が策對救匡時常非の府政へ控に前目を集召の會議時臨次第三
八十は組留殘友政舊てしとりな斷不柔優な度態の部幹すらは拘にるあ點るす反
凝を議密々種で入圍を膝名十五約者會參待招に館葉紅芝を氏郎太策泉小然突日
。たつあ所すら

(てに館葉紅芝)會待招氏泉小の派部幹友政 は眞寫

(許不載轉製複) 行發日八十月八年七和昭 スーユニ眞寫合聯開新



報画害水ンピルハ

儘此すまや尙水浸の内市もるあゝつし水減次漸は江花松 合聯發(ンピルハ)
。るゐてれらせ慮憂とりあれ炭の壊倒屋家は時る亘に期長
て着な着水海に水洪の街ヤカスイタキき抜目のンピルハ(二)(一)は眞寫
舟へルテホンルデモ館旅の一第ンピルハ(三)。娘アシロるす歩散
。街市ンピルハのし浸水た見らか中空(四)。客旅るす入出で

(許不載轉製複) 行發日八十月八年七和昭 スーユニ眞寫合聯聞新



會示内算豫に員議院兩衆貴

貴時一后午日九十は會示内案算豫加迫度年七和昭きべす出提に會議時臨次三第
。たれは行てし待招に邸官相首を者表代各院議衆時三后午、院族
(側院議衆)會示内算豫 は真寫

(許不載轉製複) 行發日九十月八年七和昭 スーユニ真寫合聯開新



美術の秋を迎へて無鑑査の有馬さとえさん(完)

帝展の有馬さとえ女史は靜かに語る「寫眞、私大嫌ひですの、ですから……」
と云ふのを無理した譯で「これ『靜物』ですけどヒタリと來ないので、六十號
位の人物を描き掛けてゐます、題もまだ極つてゐません位ゐるもの、遅いつ
て先生に叱かられちやいましたら……」無鑑査の閨秀畫家さとえ女史は微笑む
寫眞は 製作中の有馬さとえ女史

「美術の秋を迎へて」も八回さなりました本日を以て打切ることと致します

新聞聯合寫眞ニュース 昭和七年八月十九日發行 (複製轉載不許)



姉妹合せて百廿貫、テレル婦人また來朝

お馴染の女テレル夫人は二十日横濱入港のネルスク號で夫君及今度ロスアンゼルスハイスクールを卒業したばかりの妹さんアリスレイン嬢と共に我が國を訪れた。妹さんも當年取つて十三歳の少女ながら體重三十貫餘。
寫眞は 合せて百二十貫（姉さん九十三貫、妹三十貫）（於帝國ホテル）

新聞聯合寫眞ニュース

昭和七年八月二十日發行

（複製轉載不許）



任 赴 權 全 藤 武

相陸木荒集參に省軍陸分五廿時八前午日廿は僚幕下以長謀參磯小 權全藤武
らか前橋重二發出で車動自蓋無の臺四後たげ告を別袂と部惱首等長次謀參崎眞
。たい就に途の任赴京離で號燕發時九前午し拜を城宮
相首のり送見 (央中)權全藤武の任赴 は眞寫

(許不載轉製復) 行發日十二月八年七和昭 スーユニ眞寫合聯聞新



進行スラグ・チーマ・ソイラユシ物名の夏港桑

が進行スラグ・チーマ・ソイラユシ物名の夏港桑 合聯發 (コスシンラフンサ)
とこく歩り練を中町てつ作を顔似な々色の者力有の國各代現れは行に大盛日過
變大でのなのもたつこかなかながるあはでのもたつ作に的時一がる居てつなに
。すで判評な

(許不載轉製複) 行發日一廿月八年七和昭 スーユニ眞寫合聯開新



英皇愛德華七世之遊覽

去月七月廿一日英國皇帝並皇后陛下
（倫敦聯合發）
諸貴族一千名之招待遊覽盛況
。各皇族之始末國外使臣
。愛德華七世之遊覽
。陛下兩皇之御席挨拶
（真寫）

（複製轉載不許） 昭和七年八月廿一日發行 新開聯合寫真會



露發の愛友きしは美に影の録記界世

こがたし増なき輝と段一は績功の君部南に録記界世のクツヒムリオたれらへ讚
子名日の社造構るあて所るむ認くし齊の人世は露發の愛友の君田織はに後背の
で中作制を像の人二で豫くべす胎に遠永てしと品作を激感的界世のこは氏三實
。たし來出程の此がたつあ
像の人二と氏子名日 は眞寫

(許不載轉製複) 行發日二十月八年七和昭 スーユニ眞寫合聯開新

143 88 21 21 21



非常時に救国會議張裡に開會する

農村救済の第三特別會議は廿二日召集され。準與黨の政友會の態度及び
農民同盟の如何に注目が何如趨歸の盟同民國
議場全景は寫眞。たし立

(複製轉載不許) 昭和七年八月廿二日發行 新聞聯合寫眞ユース

1908-1909



（テニ室臣大）僚閣の列参に式院開會議時臨次三第

（許不載轉製復） 行發日三十月八年七和昭・ スーユニ眞寫合聯開新

1914



式院開會議時臨次三第

院開會議時臨三十六第たれさ集召爲る得を賛協の案律法及案算豫救匡局時常非
員諸。たれらせは行て於に院族貴時一十前午日三十二に下の臨親下陸皇天は式
で入謹進參に前御は長議院族貴川徳ひ賜を語勅るな渥優と々朗音玉に裡禮敬最
さば遊幸還に城宮くし麗顔龍に裡禮敬最員諸はに下陸。下退てし取拜を書語勅
(前院族貴)簿函の幸還 (は真寫。たれ

(許不載轉製複) 行發日三廿月八年七和昭 スーユニ真寫合聯開新

1898



てに館會山青ふけ會大會農國全

代會農級各縣府催開て於に内館會山青坂赤を會大會農國全はで會農國帝日四廿
會議及府政がたつ行を議決言宣るす關に策救匡時常非村農上の集參名千五約表
會大會農國全 は真寫 。たつなにとこす起を動運猛し對に

(許不載傳製複) 行發日四廿月八年七和昭 スーユニ真寫合聯開新



かんせまい座御は用御の婦出派級高んさ皆アサ

アフ) 會協婦出派級高度今退脱をンキネマ京東末月七は人夫子玲井駒ンキネマ
のり許名百で所務事の川皆座銀后午日四十二立設を會協(ンヨシクンオフ・ム
官査檢が々歴おの他の其郎太專田岩、雄正米久。たつ行を驗試拔選らか者募應
の婦出派級高等裁洋、筆文め始ンキネマは圍籠の事仕お。たゐてへ構と然殿で
驗試のんやちネマ、は眞寫。だうさるめ勤を用御

(許不載傳製複) 行發日四廿月八年七和昭 ス→ユニ眞寫合聯聞新